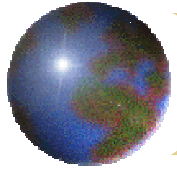


ICANNロサンゼルス会合 政府諮問委員会報告 (平成19年10月27日～31日)

平成19年11月27日
総務省 データ通信課
インターネット基盤企画室
柳島 智



政府諮問委員会（GAC）の概要（1）

GACの活動

ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。

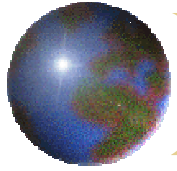
- 公共政策課題に関する事項
- ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項

GACメンバー構成

現在、101の国・地域の政府及び9国際機関(オブザーバー)で構成。

今回会合には40の国・地域の政府及び2国際機関から参加。

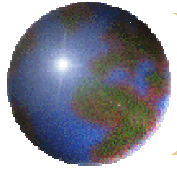
日本からは総務省が代表として参加。



政府諮問委員会（GAC）の概要（2）

ロサンゼルス会合での主要議題

- (1) IDN-ccTLD(国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)
- (2) WHOIS(ドメイン名登録情報提供サービス)
- (3) IPv4の枯渇とIPv6の導入



ロサンゼルス会合結果概要(1)

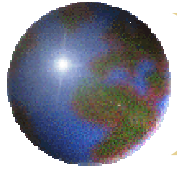
(1) IDN-ccTLD(国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)

IDN-ccTLD導入に当たって考慮すべき検討課題について意見交換

主な論点

- ・ IDNは短く、意味のある文字列とすべき。他国文字も使用可能。(例:「.米国」)
- ・ 同じ文字で複数のIDNを定めても良いか?(例:「.にっぽん」、「.にほん」)
- ・ 文字列は各国政府が定め、国際標準化機関がリストを作成すべき。
- ・ IDNの運用者は各国の方針で決められるべき。

各国政府の決定に従うべきとの基本的考え方の下、意見交換。
引き続き議論を行い、2008年6月のパリ会合でGACの考えを取り纏める予定。



ロサンゼルス会合結果概要(2)

IDN-ccTLDの暫定導入(fast-track approach)を支持

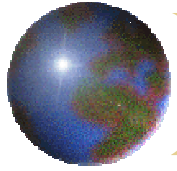
fast-track approach とは・・・

例えば、既存ccTLDに対応するIDNを一つだけ導入可能とする暫定的措置。
通常のポリシー策定プロセスでは2年以上の時間を要するため、IDN-ccTLD
早期導入の要望に応える手段として別途検討しているもの。

ccNSOで設置するIDN WGにGACも積極的に参加する意向。
2008年6月には暫定導入の実施方法を固めることを目指して議論。

新gTLDにおいて国名保護の仕組みが適切に導入されるよう注視

必要に応じて申し入れをしていくことで合意。



ロサンゼルス会合結果概要(3)

(2) WHOIS(ドメイン名登録情報提供サービス)

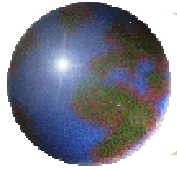
WHOISと各国プライバシー保護法規との齟齬に対処するための
ICANN手続きについて意見交換

ICANN手続き案の概要

レジストラ/レジストリからICANNへ齟齬の虞を通知
レジストラ/レジストリ(必要に応じて各国法執行機関等)との協議
ICANN法律顧問による分析及び勧告
理事会の決定
公示
継続的見直し

各国それぞれ事情が違う中で、統一的手続きを作成することは現実的ではない。
個別の問題は関係国政府に照会されるべきとの考えを表明。

ICANNに対し、WHOISデータの利用と悪用の実態調査を行うよう
再度申し入れ



ロサンゼルス会合結果概要（４）

（３） IPv4の枯渇とIPv6の導入

NROよりIPv4アドレス空間の枯渇とIPv6導入状況についてブリーフィング

ICANNにおいて意識向上のための取組が行われていることを評価。
IPv4空間の健全な管理と、IPv6導入に向けた早急な取組が必要であることに留意。
途上国にとって本件が特に重要であることを認識。

2008年のGAC作業計画においても、IPv4/IPv6は優先的検討課題のひとつであることを認識